

新潟市

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた  
平成29年度の目標とその達成状況

目標：精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築について、新潟市ではまだ具体的な取り組みが不十分であり、今後は構築に向けて体制を整えていきたい。その一環として、ピアサポーターを社会資源として活用できるよう、力を入れていきたいと考えている。また、従前の事業も引き続き取り組んでいきたい。

【達成状況】

1 保健・医療・福祉関係者による協議の場

(精神障がい者の地域生活を考える関係機関連絡会運営委員会)

民間病院看護師、PSW、障がい者基幹相談支援センター相談員、相談支援事業所相談員、区役所保健師、ケースワーカーなど官民協働の多機関・多職種で構成されており、下記事業の企画・運営、実施した事業内容の振り返り、今後の取り組みについて等を協議、検討する会議を8回開催した。

2 精神科病院情報交換会

市内精神科病院の相談員等を対象に、地域生活支援のためのネットワークづくり、人材育成を目的とし、情報提供、意見交換を1回開催した。

3 社会資源見学ツアー

市内の精神保健医療福祉に関する社会資源（精神科病院、住居・就労施設等）を見学し、その後グループワークで参加者間での意見交換等を行った。全4コース（各2～3ヶ所見学）実施し、計74名が参加した。

4 地域移行・地域定着支援研修会

講義（地域包括ケアシステムについて）、当事者による体験談発表、グループワーク（措置入院者等の退院後の医療等の継続支援について）の3部構成の研修会を実施し、計42名が参加した。

5 当事者による体験談発表

精神科病院の職員研修において、当該病院を退院し地域生活を送る当事者が病院職員に体験談を発表した。1医療機関で1回開催し、計44名が参加した。

6 ピアサポーターによる普及啓発活動

市民および地域の関係機関職員等を対象に、体験談の発表を4回開催し、計169名が参加した。

平成30年度の実施方針

平成30年度の実施の方針について、記載して下さい。

1. 保健・医療・福祉関係者による協議の場（精神障がい者の地域生活を考える関係機関連絡会運営委員会）の充実。
2. 精神障がい者の地域移行に関する人材育成。
3. ピアサポーターによる普及啓発事業の促進。